

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第197号

令和4年11月24日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

青少年のための科学の祭典 2022 神奈川大会

8月7日(日曜日)に青少年センター(横浜・紅葉ヶ丘)を会場に「青少年のための科学の祭典2022神奈川大会」を開催いたしました。協議会ニュース196号に続き、開催の様子をご報告します。



認定NPO法人 おもしろ科学たんけん工房
おもしろ科学ひろば



おもしろ実験・科学工作指導者セミナー有志
ういて まわせる おもしろマシン
(UMOマシン®)をつくろう



平塚工科高校 電気部
平工ロボットキーホルダー



自然科学に親しむ会
「光の三原色混合器」をつくろう

【参加者アンケート_満足度】

「青少年のための科学の祭典2022神奈川大会」はどうでしたか。

満足度	午前	午後	合計
5点	29	33	62
4点	4	4	8
3点	1	0	1
2点	0	0	0
1点	0	0	0
平均	4.8	4.9	4.9





日本技術士会神奈川県支部
「くるくる坂道」・「木登リテントウムシ」



平塚市立金旭中学校 科学部
金旭サイエンスキャラバン 2022 in 横浜



WDB株式会社エウレカ社
人エイクラをつくってみよう！



紅葉ヶ丘無線クラブ
電気・磁石のフシギをさぐる！



線香花火同好会
—火薬を使わない—新・線香花火を作ろう



【参加者アンケート__感想（抜粋）】

登るテントウムシがおもしろかった。
イクラを作るのが楽しかった。
火薬を使わなくても線香花火を作れることを知れてよかった。
いろいろな体験ができてよかった。
いろいろなことが勉強できてよかった。
三原色が楽しかった。
なぜイクラが作れるのか不思議に思った。

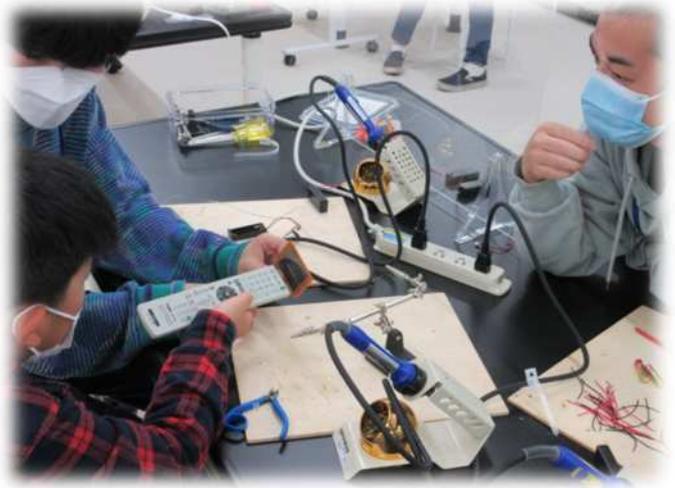
すべてすごくてどれをやるか迷った。
スライムが楽しかった。
磁石でものを浮かせるのが楽しかった。
ロボットのキーホルダーづくりがおもしろかった。
くるくるリングの竹筒を動かすと回るのが不思議だった。
教えてくれた人たちがとても優しく、楽しんでできた。
教え方がわかりやすかった。

子どもサイエンスフェスティバル厚木大会

11月12日(土曜日)に青少年センター科学部(本厚木)とプロミティあつぎ大ホールを会場に今年度1回目の「子どもサイエンスフェスティバル」として厚木大会が開催されました。厚木大会は令和2年度、3年度に開催予定でしたが、感染症拡大の影響から2年連続中止となり、3年越しに開催されました。

午前、午後の事前申し込み制としましたが、厚木市内の小学校を中心に様々な地域からの応募がありました。参加者の皆さんは、各団体の出展ブースで科学工作などを体験し、とても楽しんでいる様子でした。

神奈川工科大学 ホームエレクトロニクス開発学科 「リモコンの声を聞いてみよう！」



神奈川県立伊志田高等学校 自然科学部 「伊志田の実験ミュージアム」



おもしろ実験・科学工作指導者セミナー修了生有志
「ういて まわせる おもしろマシン (UMOマシン®) をつくろう！」



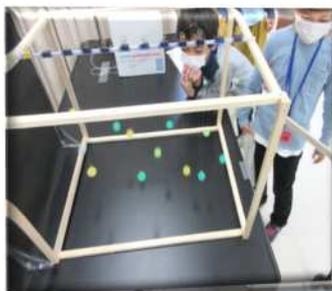
サイエンスラボ30 「レインボウボックスを作って虹をみよう」



自然科学に親しむ会「偏光板ステンドグラス」



出展いただいた5団体の皆様、ありがとうございました。



※子どもサイエンスフェスティバルは公益財団法人東京応化科学技術振興財団の助成を受けています。

事務局から

感染症対策を徹底し、青少年のための科学の祭典2022神奈川大会のようなイベントも順調に開催できました。感染症もなかなか収束せず制約が多い中ですが、試行錯誤を繰り返しながら科学の不思議を広めていきたいですね。